

(社) 日本原子力学会  
第78回倫理委員会議事要旨

日 時 平成 26 年 5 月 21 日 (水) 13:30~17:00  
場 所 日本原子力学会 事務局会議室  
出席者 大場委員長、宮越副委員長、作田幹事、内山委員、宇奈手委員、北村委員、  
関村委員、中野委員、名倉委員、林委員、福家委員  
藤田副会長、柴田理事、奈良林理事 (14名：委員名簿順)  
オブザーバー：三村氏

配布資料

- 資料78-1 第77回倫理委員会議事要旨 (案)
- 資料78-2 2014年秋の大会(9/8-10)企画セッション提案書
- 資料78-3 倫理規程改定案に関するコメント検討シート
- 資料78-3(1) 会告 日本原子力学会 倫理規程改定案についての意見募集
- 資料78-4(1) 倫理委員会委員への立候補のお願い
- 資料78-5(1) 第52回技術倫理協議会 出欠表
- 資料78-5(2) WECC2015一覧表
- 資料78-6(1) 朝日新聞 吉田調書
- 資料78-6(2) 朝日新聞 福島第一の原発所員、命令違反し撤退 吉田調書で判明

議事

1. 資料 78-1 により、前回議事要旨 (案) を確認し、了承された。
2. 資料 78-2 により、2014 年秋の大会 (9/8-10) 企画セッション提案書について、作田幹事から説明があった。セッションタイトルは、「倫理規程の意義はどこにあるのか—コトバと行動—」とし、倫理規程改定内容の紹介と規程を浸透させ、実務に反映させることの重要性について議論することとした。座長は林委員、講演は大場委員長と宮越副委員長が担当することとした。セッション参加の委員は、適宜協力することとした。
3. 資料 78-3、3(1) により、倫理規程改訂案に対するご意見への対応について、宮越副委員長から説明があった。議論の結果、一つを除く対応案は了承されたが、憲章 2 については、別途アンケートメールにより全委員の意見をたずねることとした。また、倫理規程改定へのご意見者氏名のホームページへの開示については、ご意見者本人の意思を確認し対応することとした。倫理規程改訂案については、H26 年 5 月 28 日理事会に諮り、6 月 20 日総会で大場委員長が報告することとした。
4. その他
  - (1) 資料 78-4(1) により、三村氏の委員への立候補のお願いについて、柴田理事から説明があった。また、北村委員から退任の申し出があった。この 2 件について了承し、5 月 28 日の理事会で柴田理事から報告することとした。
  - (2) H26 年 7 月からの次期(第 7 期)体制の確認について、作田幹事から説明があった。北村委員を除く全出席委員の継続就任を確認した。欠席委員については、作田幹事が後日確認することとした。
  - (3) 委員の充実強化について、各委員は電力会社、大学、規制当局などを対象に、特に若手

委員の入会促進活動を継続していくこととした。

- (4) 資料 78-5(1)(2)により、技術倫理協議会の状況について、宮越副委員長から紹介があった。米国建築学会の動きなどの情報の共有化、対外的な意見の発信についての説明があった。また、WECC2015 世界工学会議プログラム(2015年11月29日～12月2日、国立京都国際会館)の紹介があった。原子力学会も協賛することとしており、倫理委員会も協力する可能性があることを確認した。本協議会は、1回/2ヶ月の頻度で開催されており、現在、宮越副委員長が委員として参加しているが、他の委員も協力することとした。
  - (5) 資料 78-6(1)(2)により、朝日新聞が公開した吉田調書について、宮越副委員長から参考までに紹介があった。
5. 次回倫理委員会の日程は H26 年 7 月 8 日(火)、次々回は 8 月 8 日(金)とし、場所はいずれも学会事務局会議室とした。

以上